



岩井美保子議員

### 問 公民館で古いゴミ袋使用

### 答 在庫資源の有効利用

**問** 8月、名和公民館前に旧名和町の袋でゴミが出してあるとの通報を受けがくぜんとした。

公共施設だけ使うということは理解出来ない。生活者の目線をないがしろにしたことは許せない。

袋は使用期限を決めることにした。

ゴミ袋の在庫は、名和地区3万枚、中山地区3万3800枚、大山地区4700枚である。

町長はこの袋の使用は出来ないかと答弁している。

### 答

(山口町長)

家庭ゴミの出具合を制限するためには、ゴミ袋の規格を統一する必要があります、古いゴミ

であり、有効利用・経費節減のため家庭ゴミと混在しない公共施設のみ使用をした。理解をしてほしい。

### 問 新しい中山間地域等直接支払制度は

### 答 集落の意向を支援する

**問** 新対策事業については、知事特認の指定を受けた。

書類を提出したところだが進捗状況はどうか。

集落活動のレベルに応じた段階的単価の設定で、8割単価と10割単価の取り組みの状況は。

以前の取り組みで、光徳地区集落から返還はあったか。

中山地区12集落計35集落が取り組んでいる。

9月末の認定に向けて、集落協定や農用地等保全マップなどの精査検討を行っている。

単価別の10割活動集落は、

大山地区7集落  
名和地区6集落

中山地区8集落の計21集落。

8割単価は14集落である。

光徳地区での返還は聞いていない。

### 答

(山口町長)

大山地区15集落  
名和地区8集落

### 問 事業の見直しに決断を

### 答 緊要な課題である

**問** 基金を取り崩してまで行ってきた事業はそれぞれに意義はあるが、大事業に取り組むには思い切った見直しが必要である。

**答** (山口町長) 近年、行政需要は質量ともに膨大化の傾向にある。財政的制約の下では、無限ともいえない住民要求のすべてに應えることは不可能である。

18年度以降の予算編成は、基金残高の減少

・三位一体改革などによりさらに厳しくなり、計画事業の見直しは重要な課題と認識している。

新町まちづくりプランや総合計画に配慮しつつ、効率性・緊急度を選別し、利益の最大化を図る考えである。



新しく指定をうけた名和地区の水田